

令和 2 年 3 月 31 日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ 団体名 特定非営利活動法人 岡山子どもセンター
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
代表者役職・氏名 [REDACTED]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ① 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	御南和やかサロン
事業実施区域(小学校区)	御南小学校区(岡山市北区久米348番地)
① 事業実施内容	・開催日：毎週火曜日と水曜日、10時～13時、ベターライフ御南の一室 ・開催日数：85日、子育て講演会：7回 ・参加者人数：のべ1,839人(大人812人、子ども1,027人)、一日平均21.6人 参考：初年度1,058人(一日平均15.3人) 2年目1,736人(一日平均25.9人) 3年目3,266人(一日平均36.6人) 4年目3,204人(一日平均38.1人) ・屋外や室内で異年齢の子ども同士が遊んだり交流したり、また、保護者同士がつながり、親子で友達になり、子育て情報を共有したり交換したりした。同時に季節を感じ、文化に触れることができる体験の場として、お花見、七夕、水あそび、ハロウィン、クリスマス会、お正月しめ縄作り、焼き芋などを開催した。 ・子育てに関する様々な団体と交流を持ち有意義な学習会、座談会を開催することができた。岡山西支援学校の生徒とは年間通して交流を深めることができた。また、今年は初めて御南小学校の6年生がベターライフ御南に清掃活動に来た時に、サロンで親子に向けて歌や踊りを披露して交流することができた。さらに、長期休業中の小中学生がサロンに参加できるようにベターライフ主催の「親子土曜塾」と連携し、7月20日にリサイクル工作(空気砲、万華鏡、かご作りなど)で小学生や地域の方とも交流することができた。 ・広報としては「御南和やかサロンだより」(別紙あり)を御南小学校区に回覧した。近隣公民館や本庁にも設置し、子どもセンターのHP、FBでも発信した。また、さりお創刊号(2019・12・6発行)(発行/山陽リビングメディア)の「ひとりじゃないよ 居場所であつたろう」のページで御南和やかサロンが紹介された。 ・参加者の減少については、常連で来ていた子ども2人を持った親子5～6組が学区内や近隣学区に3園できたこども園や保育園に4月から入園したこと。また、兄弟の第一子が入園したことにより時間のゆとりがなくなり、第二子連れの親子の参加も減ってきたこと。昨年1日も利用しなかった親子が約100世帯いた。(入園なのか転勤なのかは不明)が原因と考えられる。  外遊び  クリスマス会  水遊び

② 解決を目指した課題

本事業は、子育て世代の孤立感や不安感を解消し、ニーズに応じ充実した子育て支援の達成のための手法を確立することが課題である。その上での今年度の課題は

①参加者の子ども、大人に常時関わるスタッフの関わり方（見守り方、安心安全への対処、発達障害などに対する専門的知識）の研修を充実する。

⇒・5年目となる今年度は昨年からの登録者151世帯に加え、新規の参加者が72世帯となった。毎月約6世帯の親子が増えたことになる。

・基本スタッフ2人体制で臨み、外遊びや室内遊び、初めて参加する大人に対する声かけ、物の取り合いなどけんかしている子どもたちにも気配り、目配りしながら、笑顔で見守り、安心安全を心掛けた。

・生活の中で、子どもの発達発達に不安を抱いている親に対しては、専門的知識を持っている発達発達トレーナーを紹介し、保護者にも発達過程や遊びの中での工夫などについて個別に対応した。

②幼稚園跡地を使用している利点を生かし、子どもの成長発達のためにも園庭での外遊びができるよう環境を充実していく。

⇒・砂遊びは一年を通じて人気の遊び。夏は水遊び、冬でも外遊びを促して土、水、葉（落ち葉）、風にふれあいながら、自然の中で五感を刺激する遊びが展開できた。

・今年度も火曜日、水曜日のサロン開催日だけでなく、月、木、金曜日の平日にも外遊びが充分できるように、外遊び道具の貸し出しを実施した。

・御南和やかサロンの活動に触れていくうちに、外遊びが子どもの成長発達に欠かせないことを理解し、自分の子どもだけでなく、よその子どももお互いに見守りあうことで、屋外での活動が活性化した。

他にも、地域の方のみでなく、御南小学校の児童や岡山西支援学校高等部の生徒など多様な世代との交流の場となることができた。

③ 目的・目標の達成状況

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況

◎若い子育て世代の親が子どもとともに集い交流し、子育ての情報交換や悩みを相談しあえる場をつくる。

⇒・年間85日開催し、親子のべ1,839人(一日平均21.6人)の参加は、今年度近隣に3カ所のこども園が設立されたにもかかわらず御南和やかサロンが認知されてきたことが伺える。

・「子どもも大人も緩やかにつながり、お母さん同士とも育児の話ができ、スタッフから教わることも多く、来るのが楽しい」という感想も出ている。

◎地域在住の高齢者と若い世代の親とが出会い、関わりあえる場を提供し、地域の多様な世代の人がお互いに支えあう地域づくりをしていく。

⇒・岡山西支援学校の生徒による実習の中に乳幼児と触れ合う時間帯も設けたので、高校生がお母さんという子どもたちと砂場で遊んだり、ドングリころがしを一緒にしたり、本を読み聞かせたりする姿も見られた。

・毎月土曜日に2回開催されるベターライフ御南主催の「親子土曜塾」との連携により、和やかサロンの親子の参加も増え、地域の高齢者から声をかけてもらい、顔見知りとなり関わりも深まってきている。様々な世代との交流や広がりが見られるようになった。

◎和やかサロンの参加者からは下記の感想が寄せられている。

・初めて来た方に、ここは喧嘩しても大丈夫なところという話などしてくださるので、子ども同士を遊ばせる親としてはとても安心だなと思う。こういう施設は、もっと増えてくれるといいと思う。

・第一子なので、ママ友もいなかったから、ここに来て同年代の子どもと遊べてすごくよい刺激になった。外でしっかり遊んで昼寝してくれるので助かります。けんかしても見守ろうというスタンスの場所がうれしい。

・お兄ちゃん、お姉ちゃんの後ろをついてまわり、まねっこをして遊べるようになった。おもちゃの取り合いもするようになり時々、「どうぞ」が言えるようになった。

・いすに座れず走り回ることが多かったけどみんなと一緒に食べられるようになった。できるようになったことやお友達とけんかすることで学ぶことがたくさんあり、いろいろ相談にのっていただいていたがありがたかった。

・毎日外で遊ぶことが当たり前と私が思えるようになったことは、サロンに遊びに来て、時には裸足で、時には水たまりで泥だらけになって遊ぶことができたからだと思う。

④ 企画等の工夫と情報公開

・1歳前から参加している3歳児の親子が常連で10組くらいいるので、よその子どもの様子を気にかけたり、遊んだり、声をかけたり、率先して食事の準備をしたりして、自分たちの居場所にもなっている。

・サロンを利用している親からの紹介で参加される方もいる。

・「御南和やかサロンだより」を毎月発行し、町内回覧、近隣公民館、保育園、岡山西支援学校などに配布し、連携を取りながら広報、情報提供をする。

・さりと創刊号(2019・12・6号)(発行/山陽リビングメディア)で御南和やかサロンが紹介された。それを見て初参加された方はいなかったが、地域の中でもさらに認知度が上がった。

・NPO法人岡山市子どもセンターのHPで活動の様子を発信している。子どもの様子を見ながら初めて参加した方には昨年度作成した「御南和やかサロンリーフレット」を手渡しし、サロンの様子を話し、居場所として楽しく利用してもらえるようにしている。

⑤ 次年度計画	○年々参加者が増加して知名度も上がってきていることや参加者のアンケートからでもサロンの開催日数や時間帯を増やしてほしいというニーズが多くある。今後とも御南和やかサロンが就学前親子のニーズに寄り添った子育て支援拠点として充実していくために、岡山市地域子育て支援課との令和2年度岡山市市民協働推進モデル事業として、「就学前親子の居場所づくり事業」として展開していく。 ・週3回・1日3時間（火曜日と水曜日の10時から13時まで、木曜日の13時から16時までの予定）ベターライフ御南の一室で「みんな和やかサロン」を開催していく。
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	・御南和やかサロンを5年間実施してきたことで、地域の中での知名度が高まってきた。校区内でマンション、新築住宅が増加し、市外県外からの転入者が多いことにもかかわらず、支援センターや公民館からの紹介や利用者による声掛けなどもあり、新規参加者はますます増加傾向にある。 ・一歳前から約3年近く経年利用してきた保護者は、徐々にサロン活動の趣旨や目的に賛同され、自主的に関わってくれるようになった。 ・持続可能なサロンにしていくためには、スタッフの人材確保や地域の方の協力が欠かせないので強化していきたい。 審査会での助言及び意見 ○活動報告を地域にできるような取り組みもぜひお願いしたい。 ⇒サロンだよりで活動の様子を地域に毎月回覧しているが、報告会のようなことはできていない。 ○実施メンバーに若年世代及び女性の取り組みをしてはどうでしょう。新たなアイデアが出るかもしれません。 ⇒ハロウィンやクリスマス会では利用者に内容検討を打診した。最後のお楽しみ会では、利用者にプログラム内容を任せて、会を進めてもらった。事前に利用者同士で何度も集まり、ますます交流も深めていった。 ○多世代交流を行うには、場をコーディネートする人材が必要だと思います。そういった人材はいますか？ ⇒いる。サロンに毎日関わっているスタッフが、地元であり日常的に地域の方と関わりができていますので、若い利用者と地域の方とを繋ぎ、結ぶ役割を担っている。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。 (理由：) 助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた ☒Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月	日	内 容		
4月	2日 16日	・お花見（親子77名） ・おしゃべり会（大人17名）		○スタッフ間で振り返りをし、共有する。(毎日)
5月	21日	・田中西公園へお散歩（親子12組）	スタッフ会議（7日）	
6月	5日 25日	・講座「絵本を楽しもう」（大人13名） ・誕生祭（プーさん文庫を招いて）（38名）	スタッフ会議（4日）	実行委員会（11日） ○サロン日誌を記入する。(毎日)
7月	10日 16日 17日 24日 31日	・岡山西支援学校生による実習 ・水遊び開始 ・岡山西支援学校生による実習 ・ペットボトルシャワー作り（7名） ・ペットボトルシャワー作り（1名）	スタッフ会議（9日）	○外遊び（随時） ○絵本の読み聞かせや貸し出し（随時）
8月	7日	・そうめん流し（77名）		
9月	4日 17日 18日 25日	・岡山西支援学校生による実習、 ・講演会「ゲーム・ネットとの距離のとり方」（11名） ・岡山西支援学校生による実習 ・子どものための防災（9名）	スタッフ会議（3日）	○「御南和やかサロンだより」（毎月発行） ○スタッフ研修
10月	15日 23日 29日	・ミニ運動会（親子50名） ・わらべうた（親子23名） ・ハロウィン遊び（親子45名）	スタッフ会議（2日）	1) おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク研修（7/10,9/11）
11月	5日 6日 13日 20日 20日 26日 27日	・親子ふれあい体操（親子31名） ・手作りおもちゃ(車)作り（3名） ・岡山西支援学校生による実習 ・座談会「子どものやる気につながるおもちゃの選び方」（大人9名） ・岡山西支援学校生による実習 ・松ぼっくりのミニツリー作り（2名） ・松ぼっくりのミニツリー作り（2名）	スタッフ会議（5日）	2) チャイルドライン公開講座（9/1,9/8） 3) メディア講演会(11/19) 4) 森のようちえん講演会（11/24）
12月	3日 4日 10日 11日 18日	・和やかバザー（73名）カレー販売 ・岡山西支援学校生の実習 ・お正月しめ縄作り（14名） ・わらべうた（親子28名） ・クリスマス会（西支援学校、御南小6年生の参加）（89名）	スタッフ会議（3日）	5) 地域子育て支援拠点事業従事者現認研修（12/8） 6) ひこうせん講演会（1/25）
1月	14日	・干支のネズミ作り（5名）	スタッフ会議（22日）	7) 教育シンポジウム（2/1）
2月	5日 12日 18日 26日	・座談会「身につけたい生活リズム、生活力」（14名） ・おしゃべり会（親子23名） ・焼きいもを焼こう(親子43名) ・岡山西支援学校による実習	スタッフ会議（5日）	8) ひこうせん見学（2/6） ○子育て講演会（6/5、9/17、9/25、10/23、11/5、11/20、2/5）
3月	11日	・みんなで歌って遊んで楽しもう会（親子52名）	スタッフ会議（3日）（17日） 絵本、名札の整理（17日）	実行委員会（10日）

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	101,000	101,000	
負担金			
参加費	31,000	42,700	
寄付、他収入	60,000	48,488	バザー、寄付など
協賛金	10,000	10,000	ベターライフ御南
計	202,000	202,188	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	84,614	用紙、玩具、月間絵本など
②食糧費	5,000	5,233	会議用お茶
③印刷製本費	10,000	15,073	コピー代
④燃料費	10,000	8,082	灯油
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	1,000	840	切手
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	10,000	17,966	米、そうめんなどの食材
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	56,000	55,680	講師謝金@5,568×10人
⑭保険料			
⑮旅費			
研修費	10,000	14,700	講演会、研修会参加費
計	202,000	202,188	